

### (3) 助言や知識を伝えるためのスキル（E-P-E）

（E-P-E）とは、「動機づけ面接（MI-Ⅲ）」で行われている情報提供の方法で、英語の「Elicit（引き出す）- Provide（提供する）- Elicit（引き出す）」の頭文字をとったものです。この方法は、支援者が家族に提供したいと思った「情報」を「質問や聞き返し」でサンドイッチにすることです。

#### ●最初のElicit（引き出す）

↓  
アドバイスの前に、既に持っている知識や関心を尋ね、伝える内容の焦点を絞ります。またアドバイスをする前には必ず許可を求めます。いきなりアドバイスを始めるのではなく、こうすることで相手に情報を受け止める準備ができていくのです。

「いいえ、今日は話をきいてもらっただけで十分です」などと言われたら、面接内容を要約して共有し、助言はせずに終了します。

#### ●Provide（助言や知識を提供する）

↓  
専門用語は避け、家族が理解しやすい言葉で伝えましょう。内容は1つか2つに絞り、家族が受け止めきれぬボリュームにすることも必要です。

#### ●最後のElicit（引き出す）

アドバイスしっぱなしは良くありません。家族の理解や解釈、反応を探り、アドバイスの内容が適切か確認しましょう。「まず〇〇からやってみます」「〇〇なら出来そうです」などの言葉が家族から出てくれば、アドバイス成功です。反対に「ちょっと難しいですね」などの反応であればアドバイスが不適切です。その時には最初のElicit（引き出す）に戻ります。

#### Elicitの例

##### ●最初のElicit（引き出す）の例

「今まで〇〇についてどんな話を聞いたことがありますか？」  
「もう少し知りたいことはどんなことでしょうか？」  
「私から一つアドバイスがあるのですが、聞いていただけますか？」  
「ちょっと提案してみてもいいですか？」

##### ●最後のElicit（引き出す）の例

「今お話しした内容は理解できましたか？」  
「お伝えした内容をどのように感じましたか？」  
「今のアドバイスの中で、使えそうなものはありましたか？」